

平成30年度事業「西川町議会事務事業評価シート」
議会による事務事業評価（西川町議会）

	予算科目	事業名
2	7款1項3目 観光費	西川四季まつり事業

1 項目別評価

評価項目	評価点	意見等
1 必要性 <small>町民ニーズ</small>	20	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の楽しみや賑わいづくりとして、そのニーズは高い。今後も町民や事業所等により積極的な参画を促し、自分たちのまつりとしての意識づけを図る必要がある。 ・交流人口の拡大や商工観光業の所得向上、特産品のPRなど町の経済活性化に各種のイベント開催は必要である。ただし、それらの現状をふまえた休廃止や統合などの検討が求められる。
2 妥当性 <small>町が行わなければならないか</small>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・関係者や町民が主体となり、魅力あるイベントやまつりを創出すべきだが、町としての支援も必要である。 ・町の支援のあり方に検討を要するイベントもあり、関係者や町民と町と一緒に考え、バランスのとれた仕組みを作るべきである。
3 効率性 <small>事業手法の効率はよいか。コスト削減の余地はないか。</small>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・町民が共に喜び合えるまつりづくりが大切だが、企画内容に基づくコストの管理も重要である。それぞれのイベントについて話し合っていく必要がある。 ・各種メディアやインターネット等を通じて情報を発信して集客を行い、収益が出るよう費用対効果も分析すべきであり、新規、継続、廃止などをイベントごとに検討すべきである。
4 成果 <small>目標の達成状況</small>	15	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の恒例の行事として町内外の人たちに認知されるように努力してほしい。 ・費用対効果を分析し、きちんとした成果として認識できるようにする必要があり、集客や収益の目標を持ち、その目標を関係者が共有して取り組むべきである。

2 全体評価

評価	評価基準	合計評価点
3	1 きわめて良好である 100点	65
	2 良好である 75～99点	
	3 おおむね適正である 50～74点	
	4 問題がある 25～49点	
	5 かなり問題がある 1～24点	
	6 不適正である 0点	

3 今後の方向性

評価	評価基準	判定理由
3	1 拡充する	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口100万人の達成や町の経済活性化のためには必要な事業であるが、きちんとした事業のふり返しを行い、効果の薄いと判断されるイベント等は整理統合すべきである。 ・成果指標の「観光消費額（推計）」も1つの成果推計であるが、売り上げ額等のより実態に近い指標で判断すべきである。
	2 現状のまま維持する	
	3 改善し継続する	
	4 見直しのうえ縮小する	
	5 期間設定し終了	
	6 廃止する	

4 評価に係る意見等

事業の総合評価に関する主な意見、特記事項及び今後の方向性の理由等
<ul style="list-style-type: none"> ・まつりの目的は、以前はそこに住む人々が日頃の労苦を癒し、一息つくための催し物であった。今は経済効果をどう生むか、活性化とどう結び付けるかも大きな目的となっている。したがって、町が主な内容を誘導するだけでなく、町民自らのまつりとして意識してもらうための取組みが必要なのではないか。 ・イベントによっては、他人ごとと思っている町民も少なくないのではないか。そのためにもより多くの参加、参画を促し、町民のまつりとして意識してもらう取組みが必要である。 ・観光協会そのものの活動強化も必要である。特に各種イベントの効果的なPRのため情報発信力をより高めるべきである。